令和8年度

香川県ふるさと・水と土保全対策推進委員会



令和８年９月１７日
農村整備課

ふるさと・水と土保全対策事業、保全推進事業の取組

目　的

・中山間･棚田地域の農地や農業用施設の保全･利活用

・中山間･棚田地域の有する多面的機能の発揮と地域住民活動の活性化

・都市住民も交えた継続的な共同活動の推進

・中山間地域の農業･農村の活性化

各事業の取組

	項目	内容	主な取組
ふるさと･水と土保全対策事業 （ふるさと･水と土基金）	調査研究事業	地域の農業や農業用施設、魅力ある資源などの現状調査を実施し地域の保全や活性化方策を検証	・中山間地域資源保全対策
	研修事業	人材育成のため、指導員及び指導員候補者の全国研修会への派遣や県内での意見交換会の開催	・全国研修会への派遣 ・意見交換会の開催
	推進事業	農業用施設の重要性や農村の魅力を都市住民に広く普及・啓発等	・ふるさと景観写真コンテスト ・ふるさと探検隊 ・ふるさと水と土指導員活動支援
ふるさと･水と土保全推進事業 （棚田地域･水と土基金）	保全ネットワーク推進事業	地域住民や都市住民などに幅広く農業・農村に関心を持ってもらうため、季刊誌を配布	・季刊誌の配布 ・「さぬきの棚田20選」の情報発信 ・棚田カードの発行・配布 ・棚田地域ＰＲ動画作成 ・棚田地域等企業マッチング
	保全活動支援事業	中山間地域の農業・農村の活性化に資することを目的として、住民組織が行う棚田地域等の保全活動に対して支援	・棚田地域等保全活動支援 ・棚田ライトアップ支援

事業実施計画（令和7年度～令和11年度）

成果目標と実績

達成すべき目標		指標	基準値 (R6実績)	目標値	年度ごとの実績				
					令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
Ⅰ	農地及び農業用施設の維持・保全・管理活動を通じた多面的機能の発揮	応募者数の増加	Ⅰ-1 ＜写真コンテスト＞ 応募枚数247枚	平均応募数を1割増やす 目標340枚					
			Ⅰ-2 ＜ふるさと探検隊＞ 応募者数144人	平均応募者数を1割増やす 目標125人					
Ⅱ	中山間地域の地域住民活動による地域の維持・活性化の実現	地域活性化を図る指導員の発掘及び増加	Ⅱ-1 ＜中山間地域資源保全対策事業＞ 地域活性化計画の策定　0地区	5年間で地域活性化活動計画を2地区策定する					
			Ⅱ-2 ＜指導員育成研修事業＞ 県内意見交換会　1回	県内意見交換会を年1回実施する					
			Ⅱ-3 ＜指導員＞ 10名	毎年8名を支援する うち、女性1割以上、60歳未満1割以上					
Ⅲ	棚田の保全及び地域の振興	地域活性化を図る地区の発掘及び増加	Ⅲ-1 ＜広報活動事業＞ 棚田カード　3,000枚	5年間で6,000枚増刷する					
			Ⅲ-2 ＜広報活動事業＞ 棚田ライトアップ１地区	棚田ライトアップイベントのサポートを毎年度1地区行う					
			Ⅲ-3 ＜棚田企業マッチング事業＞ 0地区	5年間で4地区実施する					
			Ⅲ-4 ＜棚田地域等保全活動支援＞ 支援地区　5地区	毎年3地区を支援する					



（１）令和７年度事業報告

令和７年度事業報告

令和７年度実績

ふるさと・水と土基金

決算　19,606千円

事業名	実績	決算（千円）
Ⅰ-1　写真コンテスト	応募枚数　343枚	1,479
Ⅰ-2　ふるさと探検隊	応募者数　86人	642
Ⅱ-1　中山間地域資源保全対策事業	地域活性化計画策定（府中地区）	1,032
Ⅱ-2　指導員育成研修事業「県内意見交換会」	1回開催	（他事業で対応）0
Ⅱ-3　指導員	9人支援（内女性、60歳以下0人）	2,660
香川県ふるさと水と土保全対策推進委員会	1回開催	48

その他関連事業

業務名	事業内容	担当課	決算（千円）
多面的機能支払交付金 広域化支援事業	多面的機能支払交付金の活動組織に対して、広域化・合併に伴い必要となる需用費や賃金などの経費について助成	農村整備課	2,400
かがわの農泊推進事業	農泊推進のため必要な研修や企画などに要する費用を支援	農村整備課	1,465
農地維持管理省力化	農地の維持管理軽減のために、法面のカバープランツや防草シート等の整備を支援	農村整備課	8,400
地域特用作物等産地支援事業	中山間地域等で栽培される薬用作物などについて、省力化栽培技術や生産体制の整備など産地の取組を支援	農業生産流通課	180
広報事業	県民に広く農業農村整備事業をPRするためにパンフレットを作成し配布	土地改良課	1,300

令和７年度事業報告

令和７年度実績

棚田地域・水と土基金

決算　13,359千円

事業名	実績	決算（千円）
Ⅲ-1　広報活動事業 「棚田カード」	6,100枚　増刷	869
Ⅲ-2　広報活動事業 「ライトアップ」	1地区　支援	890
Ⅲ-3　棚田企業マッチング事業	0地区	0
Ⅲ-4　棚田地域等保全活動支援事業	6地区　支援	5,600

その他関連事業

業務名	事業内容	担当課	決算（千円）
中山間地域等集落機能強化事業	中山間地域等直接支払制度協定等を対象として、集落機能の強化を図るために新たな人材確保等のための活動を支援	農村整備課	0
みんなで守る地域農業整備事業	構成員の若返りに取り組む組織に対して、農業用機械・器具等の整備を支援	農業経営課	6,000

Ⅰ-1 写真コンテスト

目的

・農村の美しい自然や文化の再発見
・中山間地域が有する多面的機能のPR
・農村の現状、保全活動の重要性の再認識

実施内容

応募期間：令和７年４月１日～11月30日
組写真賞、創作アート賞、棚田夜景賞を新設

結果

応募　343枚

応募枚数（令和６年度）247枚

【目標】
５年平均応募数
340枚





第25回優秀賞







今後の課題や対応など

・県内の施設やイベント時に展示を行う。
・入賞作品でカレンダーを作成し配布予定。
・ 新たに３つの賞を設けたが、創作アート賞の応募がなかった。⇒ 趣旨が伝わりにくかった可能性あり
・ 審査委員より、優秀賞、入選、佳作などの賞を多く設けるのではなく、数を絞り、記念品の価値を高めた方が、応募数増加につながるのではないかとの意見あり。

Ⅰ-2 ふるさと探検隊

目的

香川県内の都市部の小学生を対象に農業用水利施設の重要性を学習し、理解を深める。

実施内容

開催日：令和７年９月28日(日)　JR高松・丸亀駅発着
満濃池→香川用水記念公園（東西分水工）→豊稔池→五郷水車

結果

86人

応募者数（令和６年度）144人

【目標】
５年平均応募者数
125人


満濃池


香川用水東西分水工


豊稔池

ピザ作り体験

五郷水車

今後の課題や対応など

・香川用水や水の大切さについて考えるよい機会となった。などの感想があった。
・２回目の参加者もおり、好評を得ている。
・ 参加者の選定において、高松エリアは抽選、丸亀エリアは余裕がある状態と偏りがでた。
・ 行程全体を通して、９時～17時でまわるには慌ただしい内容であったため、ゆとりある行程への見直しが必要。
・ 香川用水記念公園のじゃぶじゃぶ池で自由時間を過ごす児童が多く、濡れた際の着替えの用意を案内時にしておく必要がある。

令和７年度事業報告　Ⅱ

Ⅱ-1 中山間地域資源保全対策事業

【目標】
5年間で地域活性化活動計画を2地区策定する

坂出市　府中地区（令和５年～７年）

目的

本地区では、高齢化や人口減少に伴い、地域資源の維持管理が困難な状況であった。そこで、３か年をかけて地域の現状把握、活動組織作りを進めた。今年度は最終年度として、地区住民を中心とした活動組織づくりを継続し、今後の活動展開を踏まえた地域活性化実施計画（案）を作成する。

実施内容

ヒアリング：７回実施

結果

「令和８年度府中みらい農園事業計画書」を作成

(1) 農業体験イベントの企画・運営

(2) レンタル農園の企画・運営

(3) 地域農家との交流、食育・自然環境教育活動









SNS配信も実施





今後の課題や対応など

- 令和８年度から会長を指導員として支援開始。
- 活性化実施計画に基づく活動を実施し、補助金に頼らない自立できる組織体制づくり。
- 令和８年度の活動状況をSNSにて発信。レンタル農園や各種イベントを地域で取り組んでいる。

令和７年度事業報告　Ⅱ

Ⅱ-2県内意見交換会

【目標】
年に１回開催

目的

地域の活動内容や課題点について情報交換を図るとともに、県内の地域交流を深め、先進地事例等を共有することにより、次年度の地域活性化活動や中山間地農業の発展を促進する。

実施内容

開催日：令和7年12月18日　14:30～17:00　坂出市府中出張所　2階会議室
参加者：49名（地元27名、香川大学12名、行政10名）
内　容：①中山間直接支払制度の制度概要　②農村における外部連携について
③府中地区での取り組みについて　④意見交換（香川大学）



今後の課題や対応など

・ 外部連携をテーマに意見交換を行ったが、興味はあるが、農村側の受入体制に課題があるとの意見。
・ 県内で外部連携の優良事例を作り、横展開する必要がある。⇒ 棚田地域等マッチング事業で対応予定

Ⅱ-3ふるさと水と土指導員活動

【目標】
毎年8名を支援する。
うち、女性1割以上、60歳未満1割以上

目的

地域住民活動の活性化を推進するため、「ふるさと水と土指導員」の地域保全・活性化活動等にかかる経費を支援。

結果　９名を支援

女性0名、60歳未満0名　（支援数（令和６年度）10名）

今後の課題や対応など

・ 女性や若者が活躍できる体制整備を促す。

地区名	指導員名	活動概要
五郷	藤田	収穫体験、里山歩き、芋・ソバ栽培
堂谷東	谷岡	枝垂桜・水仙ロードイベント、特産品開発
屋形崎	笠井	杏、レモンの栽培、収穫体験
島が峰	黒川	そばの花見会、そば打ち体験、休耕地開拓
伊喜末	前田	芋植え、芋づる塔政策、商品開発
上西	大西	茶摘み体験、野菜・お茶栽培
積	山野	イベント出店、アボカド・ニンニク栽培
庵治	白井	体験農園の整備、小学校との連携
水主	間嶋	収穫祭、大内小学校との食育学習
合計	９名	

令和７年度事業報告　Ⅲ

Ⅲ-1広報活動「棚田カード」

目的

棚田地域を広く知ってもらうきっかけとして、棚田の特徴やみどころを紹介する「棚田カード」を発行・配布している。

結果

6,100枚

（令和６年度）3,000枚

【目標】
５年間で6,000枚増刷する。

今後の課題や対応など

・ 唐櫃、五郷の棚田の増刷要望が多い。
・要望の少ない地域でイベントを行うなど、啓発に努める。



Ⅲ-2広報活動「棚田ライトアップ」

五郷地区（観音寺市）

目的

棚田の保全や棚田を核とした地域振興のための情報発信の一環として実施。

実施内容

開催日：令和７年11月29日～30日　２日間

郷土料理（こもけ団子汁）、農作物（みかん、さつまいも）の販売

結果

実施１地区　**来場者のべ1,286人**

（令和６年度実施１地区）唐櫃の棚田　来場者241名）

【目標】
サポートを毎年１地区実施

今後の課題や対応など

・ 地域主体で継続した取組みを目指す。











Ⅲ-3棚田企業マッチング事業

目的

「社会貢献に興味のある企業・団体」と「棚田地域」をマッチングさせ、持続的な保全管理の体制整備及び地域との交流活動を通じて、地域の活性化を推進する。

実施内容

・他県の取組み情報収集、棚田地域意見交換、活動内容とりまとめ
・マッチング候補地域は、保全活動だけでなく、交流活動を行える地区をモデル地区として（中山、小蓑、島ヶ峰、五郷）

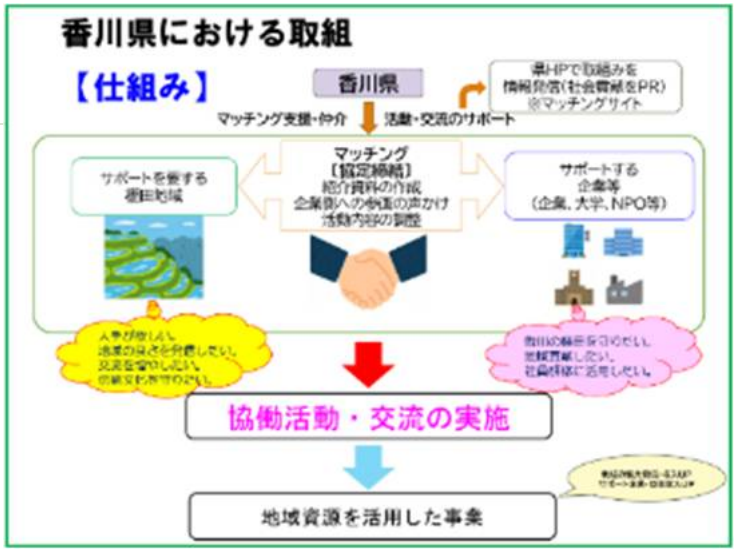
結果

０地区

【目標】
５年間で４地区実施する

今後の課題や対応など

・ 企業や団体と意見交換を行い、実現可能な仕組みづくりが必要。







地区紹介カタログ

Ⅲ-4棚田地域等保全活動支援事業

目的

中山間地域の農業・農村の活性化に資することを目的として、住民組織が行う棚田地域等の保全活動に対して支援。

結果

６地区
（令和６年度支援地区５地区）

【目標】
毎年３地区を支援する

今後の課題や対応など

・ 補助金なしでも活動が継続できる体制づくりを促す。

地区名	取組開始	取組内容
音川・炭谷（高松市）	令和５年～	ビオトープ整備、収穫体験
笠松（東かがわ市）	令和５年～	水稲、ソバによる棚田保全
井上北部（三木町）	令和５年～	コスモスによる棚田保全
朝倉西（三木町）	令和６年～	香川本鷹等の栽培
綾上（綾川町）	令和３年～	体験イベントの実施
乃生（三木町）	令和７年～	体験農園整備

令和７年度の成果と課題

✓ 成果

・棚田ライトアップイベントでは多数の来場者があり、棚田地域の認知向上と、地域への経済的効果が認められた。

・中山間地域資源保全対策事業では府中地区の活性化計画を策定できた。

・棚田企業マッチングに関しては、農村地域として外部人材を受け入れることが必要と感じているが、受け入れできる自信がない、先進事例を教えてほしいなどの地元の率直な意見が得られた。

! 課題

・地元主体の棚田ライトアップイベントに関しては、来場者も多く大成功した半面、地元からは、再度行いたいという声とイベント準備が負担という声にわかれた。

・活性化計画の着実な進捗と継続的な活動とするための若者の加入などの体制整備が必要。

・高齢化や人口減少によって地域活動の維持や活動組織づくりが困難になっている。

・先進事例作成による取組みの横展開が必要。

総括

農村の現状

・人口減少
・高齢化
・農業の担い手の減少
・若者の地域外への流出

組織継続のためには

・組織が世代交代できるしくみ
・組織としての収入確保
・若者や地域外の参画
・労働力の対価確保
・役割分担による負担軽減
・あらゆる地域資源の活用

地域外との連携

・労働力の確保
・新たなアイデア
・来訪者を受け入れる体制強化
・地域への愛着増進
・若者の増加
・農村地域の所得向上

地域内での活動継続が困難な地区が増えており、地域外との連携体制の構築が急務



（２）令和８年度事業計画

令和８年度事業計画

令和８年度予算

	業務名	取組内容	（参考）R7実績	予算（千円）
Ⅰふるさと・水と土基金	Ⅰ-1　写真コンテスト	県民の日冠イベントとして実施	1,479	1,651
	Ⅰ-2　ふるさと探検隊	島ヶ峰の活動紹介を含めて実施	642	801
	Ⅱ-1　中山間地域資源保全対策事業	1地区実施　五郷地区	1,302	1,100
	Ⅱ-2　指導員育成研修事業「県内意見交換会」	実施予定	0（他事業で対応）	274
	Ⅱ-3　指導員	10名の活動支援	2,660	3,000
			その他関連事業含む	22,796
Ⅱ棚田地域・水と土基金	Ⅲ-1　広報活動事業　「棚田カード」	増刷予定	869	743
	Ⅲ-2　広報活動事業　「ライトアップ」	1地区実施　五名地区	890	2,500
	Ⅲ-3　棚田企業マッチング事業	推進	0	1,273
	Ⅲ-4　棚田地域等保全活動支援事業	6地区支援	5,600	5,500
			その他関連事業含む	19,116

令和８年度の取組

中山間地域資源保全対策事業

観音寺市　五郷地区（令和８年～９年）

目的

平成23年に本事業にて設立した「五郷里づくりの会」について、運営・経営面における課題を分析し、組織運営体制の強化や経営状況の改善に向けた基本提案書を作成する。

結果（第一回WS：R8.7.15）

第一回ワークショップ実施（地元11名、香川大学8名、香川県4名　参加）。五郷里づくりの会の好きなところや課題についてグループディスカッションを行った

今後の予定

・複数回のワークショップにより現状分析
・Ｒ８基本提案書を作成　⇒　Ｒ９年度実施計画策定
・外部人材との関わりを促進（棚田地域等企業マッチングモデル地区設定）

五郷の地域資源・強み





各種の技術保持者がたのもしい





地域の団結力





協力体制











令和８年度の取組

写真コンテスト･写真展

「香川県民の日」（令和８年12月３日）冠イベント

県民の日とは

県民の間に広く本県の自然、歴史、文化、産業等についての関心と理解を深めるとともに、より豊かで活力に満ちたふるさと香川を共に築き上げる気運の醸成を図るため、香川県民の日を設ける。（香川県民の日条例第1条より）

「香川県民の日」冠イベント実施内容（案）

・写真コンテストの募集期間を12月７日まで延長
・写真展の開催
　開催日：令和８年12月１日～７日
　会　場：サンポート高松（市民ギャラリー）
　作　品：・コンテスト第25回入賞作品
　　・コンテスト開催初期の入賞作品（平成12年頃）
　　・「さぬきの棚田20選」の展示を実施予定

今後の予定

写真展の開催や、SNS発信を行い、コンテスト応募数増加を目指す



観音寺中央図書館展示状況



丸亀マルタス展示状況



その他写真展示実施内容

展示実施場所一覧
・香川用水記念公園
・県庁ギャラリー
・観音寺市中央図書館
・丸亀マルタス
・綾歌総合文化会館アイレックス（予定）

令和８年度の取組

棚田ライトアップイベント

東かがわ市　五名地区　｜　令和８年７月４日　｜　令和８年11月（予定）　｜　令和９年２月（予定）

目的

中山間地域の農業・農村の活性化に資することを目的として、住民組織が行う棚田地域等の保全活動（棚田ライトアップ等）を支援している。

実施主体　五名コモンズ

移住者が中心となり地元住民も巻き込み立ち上げた団体。
東かがわ市五名に古民家をフルリノベーションした宿を運営していく事を軸に、食、体験、宿泊、農業体験や移住者の受け入れ、地域の雇用を促進していく事で、地域内循環を円滑に進め、地域活性化を図ることを目的とする。

結果

100人
来訪者

約160,000円
物品販売等売上







今後の予定

・11月と２月にテーマを変え、開催予定。（計３回）
・農地保全を継続しつつ、周辺農地を借り受け、米作を実施している。

令和８年度の取組

棚田×企業マッチング

目的

「社会貢献に興味のある企業・団体」と「棚田地域」をマッチングさせ、持続的な保全管理の体制整備及び地域との交流活動を通じて、地域の活性化を推進する。

実施内容予定（R8）

・企業側の要望聞取り　⇒　お試し体験ツアー　⇒　協定締結

企業側の要望

ブランド性

・SDGz や CSRなどは、目新しさがない
・環境省の「自然共生サイト 30by30」の取組みに注目

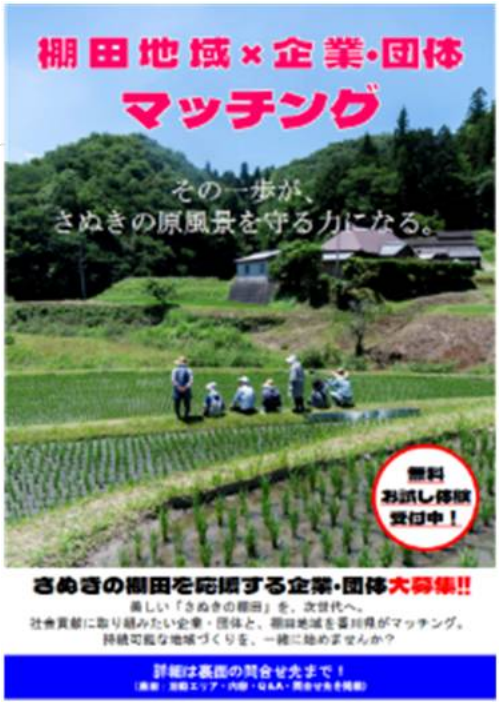
※30by30とは･･･
2030年までに、陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする取組み

出口戦略

・協定締結よりは、福利厚生として各社員ごとに様々な地域を訪れる方が取り組みやすい
・各支店の最寄りの棚田活動という方が参加しやすい
・フォレストマッチングを実施しているが、伐採材の簡単な再利用品作成など、社会貢献活動を別の形で社会に還元できるような取組みがよい

今後の予定

・企業側が参加しやすい手法を再検討（継続して、企業側の要望聞取り）
・お試し体験ツアーを企画





その他

昨年度からの対応事項等について

意見	県内意見交換会での先進事例の紹介について、欠席された方や指導員がいない地域等にも情報を共有したほうがいい。
対応	農村整備課のSNSで情報共有を行った。
意見	棚田のPR動画をネットで公開してはどうか。
対応	香川県の公報 「インターネット放送局」(YouTube) で配信中。今後、中山・小蓑・島ヶ峰・五郷のPR動画を作成予定。
意見	写真コンテストの審査会をデジタル化して、ネット投票にしてはどうか。
対応	選定時の課題があるため、審査員と検討していく。

▸Facebook『かがわの農村』



フォロアー741人
(令和8年9月15日現在)

詳しくはこちらから フェイスブック「かがわの農村」
URL:https://www.facebook.com/kagawa.noson/

▸インスタグラム『かがわ農カメ』



フォロアー691人
(令和8年9月15日現在)

アカウント名 :kagawa_nouson
URL:https://www.instagram.com/kagawa_nouson

▸YouTube『ちょっとみてみまい』



PrefKagawa 香川県インターネット放送局 「ちょっとみてみまい」



チャンネル登録者数1.41万人
(令和8年9月15日現在)

香川県 豊島 唐櫃の棚田
視聴数 158回

URLhttps://www.youtube.com/@PrefKagawa/videos